

2007年8月

謹告

株式会社ダイヘン
溶接メカトロカンパニー

ワイヤ送給装置ご愛用のお客様へのお詫びとお願い

日頃は弊社製品をご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、2006年6月から2007年6月までの間に出荷いたしました弊社デジタルインバータ溶接機「D シリーズ」用ワイヤ送給装置の一部におきまして、機器内部の絶縁ブッシュ取付け不備により、ワイヤ送給装置の絶縁が不十分となり、きわめてまれに感電に至る可能性のあることが判明いたしました。

現段階では感電に至った事例はございませんが、対象製品をご使用のお客さまに今後とも安心してお使いいただくため、無料で点検・修理させていただきます。

対象製品をご使用のお客様には、別冊「ワイヤ送給装置確認のお願い」にて、詳細をご案内申し上げますので、誠にお手数ではございますが、ご協力賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

お客様に大変なご心配・ご迷惑をお掛けいたしますことを、ここに謹んで深くお詫び申し上げますとともに、今後、このようなことがないよう、一層の努力をいたす所存でありますので、何卒ご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上

お客様各位

「ワイヤ送給装置ご確認のお願い」

2007年8月

株式会社ダイヘン
溶接メカトロカンパニー

1 . はじめに

この度は、弊社ワイヤ送給装置の絶縁ブッシュ取付け不備の件につきまして、皆様大変なご心配・ご迷惑をお掛けしますことを、ここに謹んでお詫び申し上げます。

対象商品をご使用のお客様には、誠にお手数ではございますが、次項目以降に記載いたします手順に則ってご確認いただきますようよろしくお願い申し上げます。

2 . 絶縁ブッシュ取付け不備の経緯と弊社の取り組み姿勢について

絶縁ブッシュ取付け不備は、弊社製造工程において、作業者の取付け忘れが原因であり、本来ならば、検査工程にて見つかるはずの商品が出荷されたことにつき、誠に申し訳ありません。

弊社としましては、「絶対品質」の精神に基づき、お客様に常に安心して弊社商品をお使いいただくためにも、本問題に対して、すべての対象商品を点検・修理することにいたしました。

皆様には大変なご心配、ご迷惑及びお手数をおかけしまして、大変申し訳ございませんが、何卒ご理解いただきますようよろしくお願い申し上げます。

なお、絶縁ブッシュ取付け不備が原因となるクレーム情報は、全世界で1件のみの報告であり、クレーム・災害の発生確率も極めて低く、現段階で、感電・火災等の災害は発生しておりません。

3 . 絶縁ブッシュ取付け不備による危険性について

ワイヤ送給装置の絶縁ブッシュ未装着が原因で発生する災害および溶接上の問題について以下に記載いたします。

- ワイヤ送給装置のフレームと母材と同電位の箇所を触ると感電する危険性があります。フレームと母材間には最大で95Vの電圧が印加されます。
- ワイヤ送給装置のフレームと母材が接触することで、フレームと母材間でスパークします。その際発生する火花が周辺の可燃物に飛散した場合、火災が発生する危険性があります。
- ワイヤ送給装置のフレームと母材が接触することで、溶接電流、溶接電圧が正しく出力できなくなると共に、溶接電流、溶接電圧の調整が出来なくなります。
- ロボット溶接の場合、ロボットの本体ケーブルおよび、制御装置のアース線焼損の危険性があると共に、減速器内でのアーキングにより、減速器の劣化が生じる可能性もございます。

4 . 対象商品

弊社デジタル溶接機「Dシリーズ」DM350/500、DR350、DP350/500、DL350、DW300に接続する以下の送給装置が対象となります。

● ワイヤ送給装置形式

2006年6月～2007年6月に出荷されたものが対象です。

(一部、製造年が2005年のものも含まれます)

CO2/MAG 溶接用半自動ワイヤ送給装置(鉄・ステンレスワイヤ用)

CM-7401、CM-741、CMV-7401、CMW-741

MIG 溶接用半自動ワイヤ送給装置(アルミワイヤ用)

CMA-7401、CMAW-7401、CMAW-741

アルメガロボット用ワイヤ送給装置

AF - 4001、AFA - 4001、AFF - 4001

上記形式で、かつ以下の製造番号の商品が対象となります。

● 製造番号

形式により、対象となる製造番号が異なります。

CM - 7401、CM - 741、CMV - 7401、CMW - 741、CMA - 7401、
CMAW - 7401、CMAW - 741

「1U●●●●YA●●●●●●●●」

製造番号が“1U”から始まり4桁の数字の後“YA”と記載されている。

「U●●●●YA■●●●●●●●●●●」

製造番号が“U”から始まり4桁の数字の後“YA”と記載されている。

(●部には数字、■部にはアルファベットが記載されております。)

AF - 4001

「1L10270YZ●●●●●●●●」(●部には数字、が記載されております。)

製造番号の最初に“1L10270”と記載されている。

AFF - 4001

「1L10271YZ●●●●●●●●」(●部には数字、が記載されております。)

製造番号の最初に“1L10271”と記載されている。

AFA - 4001

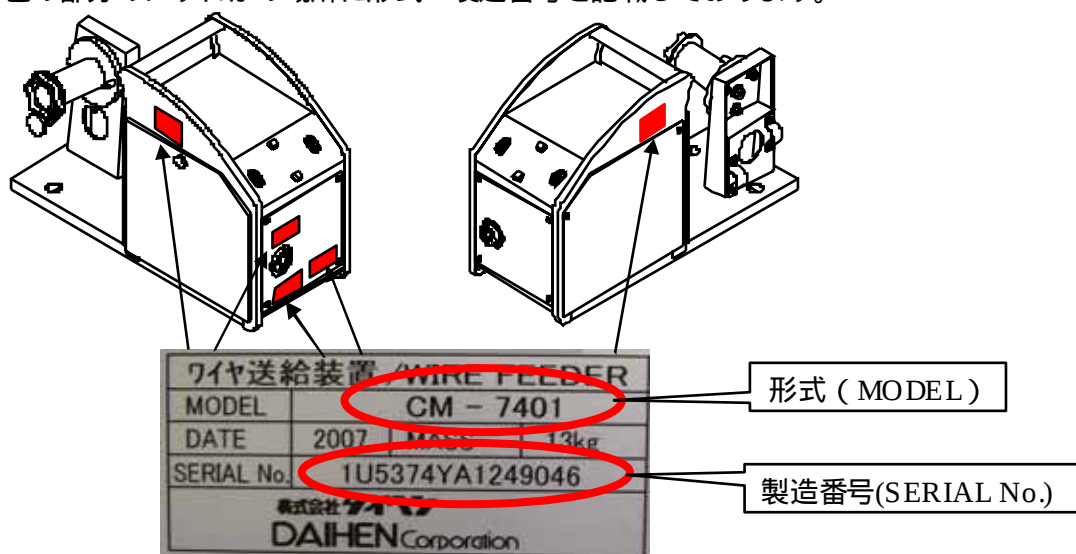
全数が対象となります。

● 形式・製造番号の表示位置

表示位置はワイヤ送給装置の形式により異なります。

CM - 7401、CM - 741、CMV - 7401、CMW - 741、CMA - 7401、
CMAW - 7401、CMAW - 741、AFF - 4001の場合

下図の赤色の部分のいずれかの場所に形式・製造番号を記載しております。



形式・製造番号記載の一例

AF - 4001、AFA - 4001

ワイヤ送給装置ギアボックス裏側に記載しております



誠に恐れ入りますが、『4. 対象商品』におきまして、対象となる製品を発見した場合は、以下のフリーダイヤルにご連絡いただきますようお願い申し上げます。お客様のご都合を確認させていただいた上で、弊社の専門スタッフがお伺いし、無料で点検させていただきます。

ご連絡窓口：「ワイヤ送給装置フリーダイヤル」TEL：0120-631-708

FAX：0120-631-738

受付期間： 8：30～17：00（土、日、祝日を除く）

5. 絶縁ブッシュ未装着の状態

絶縁ブッシュの未装着をご確認いただく場合は、以下の手順でご確認をお願いいたします。以下の添付写真のように、ワイヤ送給装置内部のアルミ製ブラケットとフレームの固定ボルトに被せている、絶縁キャップとフレームのすき間が、手順に記載の通り、ほとんどない状態になっている場合は、絶縁ブッシュ未装着の可能性がございます。

CM - 7401、CM - 741、CMV - 7401、CMW - 741、CMA - 7401、CMAW - 7401、CMAW - 741、AFF - 4001の場合

手順	確認事項	
溶接機の主電源を必ずOFFにしてください。		溶接電源のフロントパネルにある 主電源スイッチを必ずOFF にしてください。 主電源スイッチをOFFにしてから10秒後に次の手順に進んでください。

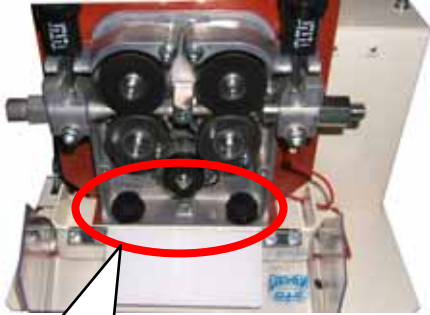
送給装置の正面向かって左側のカバーを開けてください。	ボルトを手で緩めて、カバーを開けてください				
アルミブラケットの固定部分（赤丸部）の絶縁カバー部（黒色）をご確認ください。	絶縁カバー部（黒色）を確認してください。 アルミブラケット				
固定ボルトに被せている絶縁カバー（黒色）とブラケットのすき間をご確認ください。	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="427 1061 922 1115">正常品</th><th data-bbox="922 1061 1458 1115">対象商品</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="427 1115 922 1736"> 絶縁カバー（黒色）とアルミブラケット間にすき間が有り、且つ絶縁ブッシュ（赤茶色）の存在が目視で確認できる。 </td><td data-bbox="922 1115 1458 1736"> 絶縁カバー（黒色）とアルミ製のブラケット間にすき間がない。絶縁ブッシュ（赤茶色）の存在が目視で確認できない。 </td></tr> </tbody> </table>	正常品	対象商品	絶縁カバー（黒色）とアルミブラケット間にすき間が有り、且つ絶縁ブッシュ（赤茶色）の存在が目視で確認できる。	絶縁カバー（黒色）とアルミ製のブラケット間にすき間がない。絶縁ブッシュ（赤茶色）の存在が目視で確認できない。
正常品	対象商品				
絶縁カバー（黒色）とアルミブラケット間にすき間が有り、且つ絶縁ブッシュ（赤茶色）の存在が目視で確認できる。	絶縁カバー（黒色）とアルミ製のブラケット間にすき間がない。絶縁ブッシュ（赤茶色）の存在が目視で確認できない。				

AF - 4001、AFA - 4001の場合

AF - 4001とAFA - 4001には絶縁ブッシュの装着方法が2種類ございます。

以下「取付けパターン1」と「取付けパターン2」の場合に

手順	確認事項
溶接機の主電源を必ずOFFにしてください。	 溶接電源のフロントパネルにある主電源スイッチを必ずOFFにしてください。 主電源スイッチをOFFにしてから10秒後に次の手順に進んでください。
確認作業を安全に行うために、ロボットを写真のような姿勢にしてください。	送給装置を目線の高さまで下げてください。 ロボットの2軸、3軸アームを折りたたんで、送給装置を確認しやすい位置に移動してください。 
送給装置の正面向かって左側のカバーを開けてください。	 スナップをはずして、カバーを開けてください

	アルミブラケットの固定部分（赤丸部）をご確認ください。	 絶縁カバー（黒色）が装着されている場合は「取付けパターン1」の手順で確認してください。  絶縁カバー（黒色）が装着されていない場合は「取付けパターン2」の手順で確認してください。
--	------------------------------------	--

■ 取付けパターン1の確認手順

	アルミブラケットの固定部分（赤丸部）の絶縁カバー部（黒色）をご確認ください。	 絶縁カバー部（黒色）をご確認ください。 アルミブラケット
固定ボルトに被せている絶縁カバーとブラケットのすき間をご確認ください。	正常品  絶縁カバー（黒色）とアルミブラケット間にすき間が有り、且つ絶縁ブッシュ（赤茶色）の存在が目視で確認できる。	対象商品  絶縁カバー（黒色）とアルミ製のブラケット間にすき間がない。絶縁ブッシュ（赤茶色）の存在が目視で確認できない。

■ 取付けパターン2の確認手順

黒色の絶縁カバーが取り付けられていない機種は今回の対象からは除外されます。

	ワイヤ送給装置のモータ側から赤丸部分をご確認ください。	 赤丸部分のボルトをご確認ください。
	固定ボルトの根元に絶縁ブッシュが確認されていることをご確認ください。	 赤茶色の絶縁ブッシュが装着されている。

誠に恐れ入りますが、絶縁ブッシュ未装着のワイヤ送給装置を発見された場合には、即時ご使用を中止していただき、以下のフリーダイヤルにご連絡いただきますようお願い申し上げます。お客様のご都合を確認させていただいた上で、弊社サービス部門の(株)ダイヘンテクノスの技術者がお伺いし、無料で点検・修理させていただきます。

ご連絡窓口：「ワイヤ送給装置フリーダイヤル」TEL：0120-631-708
FAX：0120-631-738

受付期間： 8：30～17：00（土、日、祝日を除く）

6. 個人情報の取り扱いについて

- お客様からご提供いただきました氏名・住所・電話番号などの「個人情報」は、弊社製品の点検・修理の目的以外に使用いたしません。
- 当社はお客様の個人情報を適切に管理いたします。
- 点検・修理を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。

以上